

第1461回札幌市民劇場

陣内麻友美

ソプラノリサイタル

G.Fr.ヘンデル「ルクレツィア」

Program 第1部 ～愛の神キューピッドの悪戯～

G.カッチーニ(1645～1618)

愛の神よ、何を待っているのか

B.フェラーリ(1603～1681)

恋人たちよ、僕は言いたい

B.ストロツィ(1619～1677)

愛の神よ、眠らないで

T.メールラ(1594～1664)

僕はそんな愚かなことは信じない 他

第2部

G.Fr.ヘンデル(1685～1759)

ソロカンタータ「ルクレツィア」 HWV145

～ローマ帝国の運命を変えた女性～

2019

9/28(土)

17:00開演／16:30開場

会場 ザ・ルーテルホール

札幌市中央区大通西6丁目3-1 TEL:011-251-1311

入場料 前売2,500円

当日3,000円

大学生以下1,500円

出演 ソプラノ 陣内 麻友美

バロック・チェロ 懸田 貴嗣

チェンバロ 山縣 万里

■主催／札幌市民芸術祭実行委員会・札幌市・(公財)札幌市芸術文化財団

■後援／札幌音楽家協議会・北海道新聞社

■主管／陣内麻友美 ■チケットお取り扱い／道新プレイガイド(TEL:011-241-3871)

■お問い合わせ・チケット予約／Jin企画(TEL:090-1309-5893 FAX:011-591-4703 メール:mayumayu-j5517@ezweb.ne.jp)





リサイタルに寄せて

リサイタル前半は、「愛の神キューピッド」について歌います。

愛の神キューピッドは天上から悪戯に矢を放ちます。

金の矢があたれば両想い、鉛の矢があたれば一生嫌がられる・・・。

恋の苦しみはこのようにして生まれると当時の人々は考え、

それを詩や歌、絵画のモチーフにしてきました。

様々な恋のかたちを歌いたいと思います。

ローマ帝国の運命を変えた一人の女性「ルクレツィア」。

強くも悲劇的なヒロインの姿が、

ヘンデルのあたたかくも激しい音楽によって表現されています。

大学時代に出会い衝撃を受けたこの作品を、バロックのテーマである

“劇的であること”に挑戦して演奏したいと思います。

(陣内麻友美)



陣内 麻友美 / JINNOUCHI Mayumi (ソプラノ/ Soprano)

札幌市出身。北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース(声楽専攻)卒業。声楽を長内勲、宇田川貞夫、波多野睦美、小林木綿、早坂佳子の各氏に、バロック音楽を濱田芳通氏に師事。

札幌市民芸術祭新人音楽会、三岸好太郎美術館ミニリサイタル、かでる2、7ロビーコンサート、市役所ロビーコンサート等に出演。

日本アンサンブルコンクール、リート・デュオ部門にて優秀演奏者賞、小佐野英子賞受賞。

04' 東京・札幌・旭川においてバロック音楽でリサイタルを開催。

14' 東京・札幌においてF.クーラン「ルソン・ド・テネブル全曲演奏会」に出演。

14' J.S.バッハ「コーヒー・カンタータ」、17' キタラアーティストサポートプログラムにおいてJ.S.バッハ「農民カンタータ」を中心としたジョイントリサイタルを開催。「音楽の友」や「北海道新聞演奏会欄」に、高い評価で取り上げられた。

18' ふきのとうホールにて六花亭主催公演「鎮魂— 3.11 東日本大震災 スターバト・マーテル」に

出演。同年、アイヌ神謡集(知里幸恵)「銀のしずく ふるふるまわりに」を委嘱初演する。

19' モンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」全曲演奏会を開催。

近年は、アンサンブル「フィリア」のメンバーとして小学校の音楽鑑賞教室を中心に、北海道各地の演奏会に多数出演。子供向けや親子のための演奏会も積極的に企画・出演する。

古楽、日本歌曲、ドイツリート、声楽アンサンブルをレパートリーとしている。

札幌音楽家協議会、札幌バロックダンス研究会各会員。ポール・ソヌス、ドイツの森、声楽アンサンブル「イエフテ」メンバー。

道新文化センター、栄地区センター合唱サークル、歌う会「すずらん」各講師。



懸田 貴嗣 / KAKETA Takashi (バロック・チェロ/ violoncello)

東京芸術大学大学院修了後、文化庁在外派遣研修員としてミラノ市立音楽院古楽科にて学んだ。チェロをガエタノ・ナジッロ、鈴木秀美、藤森亮一の各氏に師事。伊ボンポルティ国際古楽コンクールで第1位、聴衆賞を受賞。ラ・ヴェネシアーナ、バッハ・コレギウム・ジャパン、

リクレアツィオン・ダルカディアなどのメンバーとして、国内・欧州各地の主要な音楽祭での演奏や録音活動を行っている。ロベルタ・マメリ、エンリコ・オノフリ、ミカラ・ペトリ等海外の著名な演奏家との共演も数多い。CD「ランゼッティ/チェロ・ソナタ集」で第67回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。

日本イタリア古楽協会運営委員。前北海道教育大学岩見沢校音楽文化専攻特任准教授。



山縣 万里 / YAMAGATA Mari (チェンバロ/ Cembalo)

東京藝術大学音楽学部楽理科および同器楽科チェンバロ専攻卒業。在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞を受賞。同大学院修士課程チェンバロ専攻を修了後、ソリスト、通奏低音奏者として活動が続ける。ソロの演奏会シリーズ《ひとり琴》を毎年開催。

様々なオーケストラやアンサンブルの公演にチェンバロおよびオルガン奏者として参加するかわら、主宰する《Duo Maris》《通奏低音組合》、クラシックからジャズやタンゴまで多彩なレパートリーを誇る《アンサンブル・エスプレッソ》、和楽器奏者とのコラボレーション企画など、幅広い演奏活動を行っている。また、これまでに通奏低音奏者として参加したCDは全て、音楽誌等において特選盤に選ばれている。